

情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

スイセン植込みイベント & 「咲くやこの花館」館内見学ツアー

みんなでスイセンの球根を植えて、春に花咲く喜びを分かち合おう～♪
花・緑が好きな方、お子さんと一緒に自然と触れ合いたい方はぜひご参加ください！花壇にスイセンを植え込んだ後は、「咲くやこの花館」の館内見学ツアーにご招待！熱帯から乾燥地帯、高山、極地圏までの、地球上の様々な気候帯に生育する植物を栽培展示している日本で最大の温室をご案内します。ご応募、お待ちしております！

スイセンプロジェクト 球根シェア「5for5」スタッフ一同

日時： 10月27日(土) 14:00～15:00 ※「咲くやこの花館」の館内見学ツアー以降、閉館17:00までお楽しみいただけます。

場所： 鶴見緑地公園内 咲くやこの花館 入り口
地下鉄「鶴見緑地」駅下車

参加費： 無料（「咲くやこの花館」入館ご招待）

対象： 東日本大震災による様々な状況により関西に避難されている方

定員： 10組（個人・ご家族・グループでの参加問いません）

持ち物： 動きやすい服装であれば、あとは特に必要ございません。

申込締切： 10月12日(金)

※スイセンプロジェクト 球根シェア「5for5」については、下記のサイトをご覧ください。
http://www.totomoni.net/project_suisen/

申込・問合せ 大阪市ボランティア情報センター(修田)
☎:06-6765-4041

イタリアン試食会に参加しませんか？

私たちは3月に発足したばかりのボランティア団体です。東北の方々に何か出来ることは無いか・・・今私たちに出来ることはなにか？皆で真剣に悩んでいました。その頃ちょうど、代表の知り合いで、おしゃれなイタリア食堂のオーナーの方とお話が出来、試食会を開催する運びとなりました。大阪のこと、なんでも聞いてください！ぜひ気軽に参加してくださいね！

日時： 11月10日(土) 12時から

集合場所： JR「平野」駅

対象： 東日本大震災により大阪に避難している方で
就学前のお子さんがいらっしゃる方
(保育士が待機しております)
(子ども向けに「子ども祭り」を開催いたします)

定員： 20人
※応募多数の場合は抽選になります

参加費： 無料

申込期間： 10月1日～10月31日
締切日を過ぎても定員に満たない場合は申込を受け付けていますのでお問い合わせください

申込・問合せ きつと もっと 未来
☎:06-6792-0888 FAX:06-6794-4477

第2回御堂筋 東北復興支援バザーが開催されます

御堂筋にある大阪ガスビル前にて、『東北復興支援バザー』と題したチャリティバザーが開催されます。今年の5月に開催された第1回に引き続き沢山の復興商品や観光案内が並びますので、ぜひご覧ください。大阪市ボランティア情報センターからも出展があります。

日時： 10月23日(火) 10:30～19:00
24日(水) 9:30～16:30
25日(木) 10:30～19:00
26日(金) 9:30～16:30

場所： ガスビル東側全面
(大阪ガス、りそな銀行)
地下鉄「淀屋橋」駅下車

内容： ・東北の障がい者施設の製品の販売
・リサイクルブックの販売
・パネル展示 等を予定しています

主催 大阪ガスグループ“小さな灯火”運動
株式会社りそな銀行

古代東アジア国際交流のお祭り 四天王寺ワッソが開催

古代東アジアの国際交流をモチーフにしたお祭り『四天王寺ワッソ』が開催されます。古代の衣装を着たステージパフォーマンスや屋台広場に加え、被災県の特産品を販売する被災地支援ブースが設置されます。

開催概要

(晴天時)

日程： 11月4日(日) 10:30～17:00

会場： 史跡なにわの宮跡(中央区法円坂)
地下鉄「谷町四丁目」駅下車

入場料： 無料

(雨天時)

日程： 11月4日(日) 12:00～(予定)

会場： エルおおさかシアターホール(中央区北浜東)
地下鉄「天満橋」駅下車

入場料： 無料(入場には整理券が必要です)

主催 四天王寺ワッソ実行委員会

住之江区社会福祉協議会による「おしゃべりカフェ」開催しています

住之江区社会福祉協議会では、「おしゃべりカフェ」という県外避難をされている方の交流会を毎月第2土曜日に開催しています。大阪での生活のことや日ごろのお悩みなど、お茶を飲みながらゆっくりとお話されませんか？
住之江区外にお住まいの方ももちろんどうぞ！

次回開催予定

日時： 10月13日(土)
13:30～15:30

場所： 住之江区在宅サービスセンターさざなみ
3階多目的ルーム
住之江区御崎4-6-10
地下鉄「住之江公園」駅 徒歩7分

申込・問合せ

住之江区社会福祉協議会
☎:06-6686-2234 担当:柴田・前田

ご質問、ご連絡等は・・・



IMONIKAI バックナンバーもお送りできますので
ご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618

≪利用時間≫

月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00

≪休館日≫

日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始(12月29日～1月3日)

E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

東北と大阪を繋ぐ情報紙

第16号：平成24年9月

IMONIKAI

いもにこい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX:06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会

大阪府下避難者支援団体等連絡協議会 「ホッとネットおおさか」 第2回定例会が開催されました

9月21日(金)大阪弁護士会館(大阪市北区)において、『ホッとネットおおさか(大阪府下避難者支援団体等連絡協議会)』の第2回定例会が開催されました。なかなか決まらなかった愛称も『ホッとネットおおさか』に決まり、この日は40人強の皆さんが参加されました。前回に比べると人数は減りましたが、参加された皆さんは熱心に発言者の言葉に耳を傾け、法律の学習の部分では積極的に質疑もいただきました。



原子力事故による子ども、被災者支援法ほか法律
関係のご相談は原発事故被災者支援関西弁護士団まで



原発事故被災者支援関西弁護士団連絡先

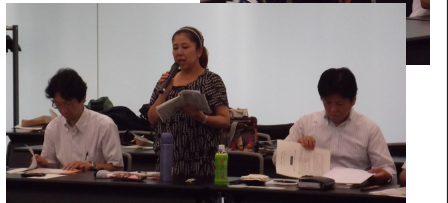
(TEL) 06-6362-9615

弁護士事務局長

(FAX) 06-6362-5143

大阪共同法律事務所 弁護士 白倉典武

避難当事者団体の方
にもご発言いただきました。



会議では、まず最初に当事者団体からのお話や、各支援団体からの支援の状況・今後の取り組みなどについての報告が行われた後、『原子力事故による子ども、被災者支援法』について、大阪弁護士会の弁護士からお話いただきました。

法律の話は難しくて尻込みしがちですが、要点を押さえて説明をしていただき、講師の弁護士からは、「支援団体の皆さんから避難当事者の皆さんへ法律のポイントを伝えていただきたい。要請があれば説明にも出向かせていただきます。」という言葉もありました。

会の最後は事務局から、避難者支援関連の広報物などを定期的にもれなく避難者の元に届けられるよう、『ホッとネットおおさか』として府内の各市町村自治体に依頼させていただくことなどが報告されました。

『ホッとネットおおさか』では、今後も大阪府内での支援団体の連携を強化し、大阪で避難生活を送られている皆様が「ホッと」できるよう支援の充実を目指していききたいと思います。

10月のCafe IMONIKAIのご案内

日時： 10月24日(水)
10:00～15:00
※昼食は各自でご用意ください

場所： 大阪市立社会福祉センター
(天王寺区東高津町 12-10)
地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄
「大阪上本町」駅 11番出口

申込： お電話またはEメールにてお申込みください。
Eメールでのお申込みには、お名前、参加人数をご明記ください。
☎:06-6765-4041(担当:修田)
E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp

◎その他お楽しみ企画やお役立ち情報などご用意いたします。
どうぞお気軽にお越しください。



8月のCafe IMONIKAIでは・・・



・8月29日(水)、大阪市立社会福祉センターにて開催されました。当日は子どもも含めて14人が来所され、テーブルを丸く囲み、一緒に昼食を食べながらお話をされるなど、まさに「いも煮会」の名の通りあたたかな会となりました。

たこ焼き丸めて、みんなで輪になりました

東日本大震災復興応援

東北×関西交流フッキング みんなでたこ焼き！パーティー



9月8日(土)、大阪市立子育ていろいろ相談センターにて、大阪市ボランティア情報センターと社団法人健康栄養支援センター(HNS)主催の料理を通じた交流会「東北×関西交流フッキング みんなでたこ焼き！パーティー」が開催されました。避難されている方、地元大阪の方とが一緒に料理をして楽しんでいただくこの集い、1月には恵方巻きを作りましたが、今回のメニューは大阪名物の王道「たこ焼き」です。大阪では一家に一台たこ焼き器があるのが普通(?)ですが、参加者の皆さんは初めてという方がほとんどで、地元の方に教えてもらいながらたこ焼きをくるくると焼き上げました。

お母さんと一緒にプルプルの
ところてんを突き出します。



熱い!でもそれがおいしい!



みんなで突っついていっているうちに
だんだんと丸くなってくるたこ焼き。



最後は意見交換の場に。

また、たこ焼きの他に、「ところてん」と「ひやしあめ」も手作りしました。関西風に黒蜜で食べるところてん、関西ならではの夏の飲み物ひやしあめと、関西一色のメニューをみんなで味わいました。

食後は交流タイムとして、今日の食材にまつわるクイズや、関西弁・東北弁のクイズなどを楽しみ、最後は全員で輪になって今後あったらうれしい交流の内容や支援活動について話し合いました。避難されている方と地域の方とが一緒に活動ができるこのような会を、今後も継続的に行なっていきたいと思います。

地域の人と一緒に…相談会を開催

西成区

西成区社会福祉協議会は9月1日(土)、南津守福祉会館において、東日本大震災で被災し、西成区南津守で避難生活をしている方を対象に相談会を実施、21名(子ども5名を含む)が参加しました。避難者の皆さんは来阪してから1年以上がたち、この地域での生活に少しずつ慣れてこられる一方、新たな悩みや思いを抱えながら日々を送っている中、普段から付き合いのある地域の人々も交えて集いました。



おいしい料理に舌鼓を打ちながら…



バルーンアートに興味しんしんの子どもたち

相談会での主な悩みの内容は住宅問題で、多くの方が大阪に住み続けたいと強く希望し、可能であれば引き続き現在の市営住宅に居住したいというものでした。その中で「お盆に故郷に帰ってきたけれど、向こうでは大阪のことが恋しくなって、大阪に帰ってくるとホッとした」という言葉もありました。他には、小学校のプールの利用について、東北で暮らしていた地域では夏休みを通じてプールが開放されていたが、こちらでは開放期間が短いなど、地域の違いによる日々の学校生活で感じる率直な意見などもありました。

また、相談会に合わせて南津守社会福祉協議会と南津守地区ネットワーク委員会が昼食会を実施しました。地域のボランティアの方が前日から準備をした味自慢のカレーライス、手作りラッキョウ、サラダ、そうめんなど、心のこもった料理とホッとできる喫茶を楽しみ、料理を通じて会話ははずみ、皆さんで一緒になってそれぞれの思いや日々の生活などの話をしました。当日会場では、バルーンアートも実施され、ボランティアの方に作ってもらうだけではなく、子どもたちも一緒に作り、楽しい時間を過ごしていました。

大阪おさんぽ録 岸和田だんじり祭り

大阪の初秋のお祭りに、だんじり祭りというものがあります。五穀豊穡を願いだんじりと呼ばれる山車をひくお祭りですが、その中でも特に大迫力な「やりまわし」で有名な、「岸和田だんじり祭り」を観てきました。

はじめて見るだんじりは大きさもさることながら、その装飾が実に見事でした。内部には戦記物語や神話などの彫刻が細かく幾重にも彫ってあり、とても繊細な芸術作品のようでした。しかしだんじりは展示するものではなく、ひくものです。青年団の「そーりゃー!」という掛け声とともにだんじりは動きはじめ、次第に勢いをつけて走らせていきました。細い路地で走りながら方向転換する「やりまわし」は豪快そのもの。勢い余って民家の塀にぶつけてしまった跡もありました。

だんじりには繊細さと豪快さが融合した得も言われぬ魅力がありました。熱狂的な祭り好きの人々に囲まれ、残暑のなかでもひととき「熱い」一日でした。

だんじり祭りは10月の一週目の土日を中心にいろいろな地域で行われています。ご興味の有る方は一度観に行かれてはいかがでしょうか。活気あふれるお祭りですよ!



方言の交差点「ジャンケン」のかけ声

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

思いがけないところに方言はあります。たとえば、今回紹介する「ジャンケン」のかけ声。皆さんは何と言いますか?ジャンケンポン?ジャンケンポイ?ジャンケンホイ?

ジャンケンの語源は定かではありませんが、江戸時代に中国から伝わった「シャクケン(石拳)」という遊びに由来すると考えるのが有力です。でも、これは共通語の世界の話であって、方言の世界では全く違う言い方をします。たとえば、東北にはジャンケンのことを「キッキ」とか「ケンケン」と言う地域があります。また、北関東や中部の一部では「チッチ」や「チッチポー」と言ったりもするそうです。

私たちのいる大阪では「インジャンホイ」と言います。そもそも大阪ではジャンケンのことを「インジャン」と呼びます。でも、最近の若い人は「インジャンホイ」をあまり使わなくなっているようです。とはいえ、遊びと深く結びついている方言は共通語の影響を受けにくいものです。たとえば、集団を二つに分ける時のかけ声。東北では「ウラオモテ」と言いますよね。かけ声の調子やそれに伴う動作には地域差があるようですが…。大阪では「グー」と「パー」を使います。でも、そのかけ声ときたら…。お知り合いの大阪の人に尋ねてみてください。きっと、思いがけない発見をしますよ。



【方言募集】ぜひ、ご連絡ください。

(追手門学院大学講師 櫛引祐希子)

住所:〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子
E-mail:yukushib@res.otemon.ac.jp